

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月7日

上場会社名 東海染工株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 3577 URL <http://www.tokai-senko.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 八代 芳明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 津坂 明男

TEL 052-581-8141

四半期報告書提出予定日 平成21年8月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	3,908	△18.9	△44	—	△78	—	△158	—
21年3月期第1四半期	4,820	—	△133	—	△72	—	△165	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△4.56	—
21年3月期第1四半期	△4.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	15,355	4,884	31.1	137.53
21年3月期	15,836	4,838	30.0	136.82

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 4,770百万円 21年3月期 4,746百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	0.00	0.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

配当予想につきましては、現時点では未定であります。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	7,900	△12.6	60	—	△30	—	△80	—	△2.31
通期	16,200	△6.1	440	—	240	—	150	—	4.32

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 ―社 (社名) 除外 ―社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
② ①以外の変更 有
- (注)詳細は5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	36,142,529株	21年3月期	36,142,529株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	1,453,698株	21年3月期	1,450,361株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	34,690,731株	21年3月期第1四半期	34,708,203株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績予想については、当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、これらの予想数値と異なる場合があります。
- 平成22年3月期の配当予想につきましては、当社グループを取り巻く経営環境が極めて厳しい状況下であり、今後の業績動向等を総合的に勘案した上で、決定する予定のため、現時点では未定であります。今後、配当予想を決定しましたら、速やかに開示致します。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における我が国経済は、昨年秋以降の世界的な景気後退の影響により、一部の企業に在庫調整の進展や生産の回復がみられたものの、依然として企業収益は回復せず、所得の減少や雇用調整が進むなど、極めて厳しい状況にて推移しました。

当社グループが主力とする繊維業界、とりわけ国内染色加工業界におきましては、消費者の節約志向の強まりに伴い、百貨店や量販店における衣料品販売が著しく落ち込み、また店頭での低価格化の影響もあり繊維生産の海外移転が更に進展するなど、経営環境の悪化が顕著となっています。

このような状況下、当社グループでは生き残りを図るために、国内の染色加工事業におきましては、人員の適正化を含め受注状況に応じた弾力的な操業対応による効率的な生産・展開を図り、また海外におきましては、タイ子会社では、ローカルマーケット間に競争力があるプリント加工の受注拡大、インドネシア子会社では、日本とインドネシア間におけるEPA（経済連携協定）を活用した日本向けの販売拡大を進め、グループ全体で収益改善に取り組みました。

この結果、当第1四半期連結会計期間は、海外の繊維事業が堅調に業績を伸ばしましたが、国内の染色加工事業が、店頭での衣料品販売の大幅な減少の影響により、受注減少が想定を上回り、また、当期実施予定の国内ニット加工事業集約化の効果が、第3四半期以降となることもあり、売上高は3,908百万円（前年同期比18.9%減、911百万円減）となりました。利益面は、製造原価の低減努力により、営業損失が44百万円（前年同期は営業損失133百万円）と営業利益段階では赤字幅改善となりましたが、経常利益段階以下において、当期は営業外収益に特別な事項がなく、経常損失78百万円（前年同期は経常損失72百万円）、法人税等を控除した四半期純損失は158百万円（前年同期は四半期純損失165百万円）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

①繊維事業

主力の染色加工部門は、国内にて需要減少を見込んだ生産体制を整備し臨んだものの、消費者の生活防衛意識の高まりによって、得意とする百貨店向け売上が大きく落ち込み、また円高基調により輸出向け売上も低迷しました。海外におきましては、タイ子会社が前期に実施した合理化効果やタイ国内向けのプリント加工受注が好調に推移したことにより、収益事業に変革を遂げ、5期ぶりに大幅な黒字回復をしたことに加えて、インドネシア子会社も引き続き好調に推移し、現地通貨ベースでは大幅増収となりましたが、為替の影響により円貨換算では増収とはなりません。これらの結果、染色加工部門の売上高は2,232百万円（前年同期比25.9%減、781百万円減）と減収となりました。

繊維製品等販売部門は、インドネシア子会社における日本向け販売が拡大したものの、国内において、婦人衣料用途向けのテキスタイル販売が落ち込んだほか、縫製品販売の秋冬物商談が低調に推移した結果、売上高は1,350百万円（前年同期比8.1%減、118百万円減）となりました。

以上の結果、繊維事業の売上高3,582百万円（前年同期比20.1%減、900百万円減）となり、営業損失は53百万円（前年同期は営業損失168百万円）となりました。

②不動産賃貸事業

新規取扱い物件はなく、売上高22百万円（前年同期比7.7%減、1百万円減）、営業利益は16百万円（前年同期比15.1%減、2百万円減）となりました。

③機械販売事業

主力マーケットである染色加工業界の低迷により、売上高35百万円（前年同期比62.6%減、59百万円減）となりましたが、営業利益は6百万円（前年同期比16.4%増、0百万円増）となりました。

④倉庫事業

景気悪化に伴う倉庫・荷受取扱量の減少により、売上高89百万円（前年同期比35.1%減、48百万円減）、営業損失6百万円（前年同期は営業利益7百万円）となりました。

⑤保育サービス事業

保育園の受託運営増加や託児所の新規開設等により、売上高260百万円（前年同期比17.1%増、38百万円増）となりましたが、先行投資による経費増加もあり、営業利益は4百万円（前年同期比82.5%減、21百万円減）となりました。

⑥システム事業

景気後退に伴う企業のシステム開発に係る設備投資抑制の影響により、売上高35百万円（前年同期比53.9%減、41百万円減）、営業損失は12百万円（前年同期は営業損失22百万円）となりました。

所在地別セグメントの業績は、次のとおりであります。

①日本

主力の繊維事業が、景気悪化継続に伴う消費不振、衣料品販売低迷の影響により、業績が低迷した結果、売上高は3,007百万円（前年同期比21.4%減、819百万円減）、営業損失は148百万円（前年同期は営業損失155百万円）となりました。

②東南アジア

タイ子会社が前期に実施した合理化効果に加えて、タイ国内向けの受注が堅調した結果、黒字回復し、またインドネシア子会社も前期に続き好調な業績を維持した結果、売上高は958百万円（前年同期比10.2%減、108百万円減）、営業利益は115百万円（前年同期比322.2%増、87百万円増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、15,355百万円（前連結会計年度末比3.0%減、481百万円減）となりました。これは主に現金及び預金の減少598百万円、投資有価証券の増加299百万円等によるものです。

負債は、10,471百万円（前連結会計年度末比4.8%減、527百万円減）となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少324百万円、短期借入金の増加519百万円、未払費用の減少545百万円等によるものです。

純資産は、4,884百万円（前連結会計年度末比0.9%増 45百万円増）となりました。これは主に資本剰余金の減少639百万円、利益剰余金の増加463百万円、有価証券の時価評価に伴う有価証券評価差額金の増加178百万円等によるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、営業活動により877百万円の減少、投資活動により90百万円の減少、財務活動により283百万円の増加となった結果、前連結会計年度末と比較し、598百万円減少し、1,363百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純損失78百万円を計上しましたが、減価償却費148百万円、仕入債務の減少額338百万円、未払費用の減少額567百万円等により、877百万円の支出（前年同期は322百万円の支出）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出87百万円、国庫補助金の受入額18百万円等により、90百万円の支出（前年同期は76百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金増加による収入443百万円、長期借入金の返済による支出165百万円等により、283百万円の収入（前年同期は68百万円の支出）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想については、当第1四半期決算を踏まえ検討した結果、平成21年5月12日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の予想について変更は行っておりません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち決算日が1月31日であったTKサポート株式会社については、同日現在の財務諸表を利用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っていましたが、同社が決算日を3月31日に変更したことにより、当第1四半期連結会計期間は平成21年2月1日から平成21年6月30日までの5か月間を連結しております。

(連結納税制度の適用)

当第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

(金額単位の変更について)

当社の四半期財務諸表に記載されている科目の金額については、従来、百万円単位で掲記しておりましたが、当第1四半期より千円単位で記載することに変更致しました。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,363,940	1,962,469
受取手形及び売掛金	3,958,214	3,933,588
商品及び製品	283,794	408,788
仕掛品	347,376	361,900
原材料及び貯蔵品	362,647	378,974
繰延税金資産	22,401	25,964
その他	432,490	400,784
貸倒引当金	△3,639	△2,737
流動資産合計	6,767,226	7,469,734
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,821,591	1,725,640
機械装置及び運搬具（純額）	2,518,730	2,512,626
土地	1,809,083	1,803,839
建設仮勘定	87,775	276,496
その他（純額）	72,187	62,723
有形固定資産合計	6,309,369	6,381,326
無形固定資産		
のれん	29,278	31,877
その他	30,123	30,446
無形固定資産合計	59,401	62,323
投資その他の資産		
投資有価証券	1,883,456	1,583,883
繰延税金資産	10,147	12,088
その他	331,680	333,108
貸倒引当金	△6,057	△6,059
投資その他の資産合計	2,219,227	1,923,021
固定資産合計	8,587,997	8,366,671
資産合計	15,355,224	15,836,405

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,042,417	2,366,488
短期借入金	4,030,638	3,510,832
未払法人税等	40,924	46,453
賞与引当金	11,100	17,100
その他	920,490	1,634,094
流動負債合計	7,045,571	7,574,969
固定負債		
長期借入金	971,790	1,120,823
退職給付引当金	1,732,239	1,790,050
役員退職慰労引当金	315,073	316,451
負ののれん	24,280	25,898
その他	382,119	169,989
固定負債合計	3,425,503	3,423,213
負債合計	10,471,074	10,998,182
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,300,000	4,300,000
資本剰余金	2,413,074	3,052,621
利益剰余金	△765,203	△1,228,547
自己株式	△331,954	△331,666
株主資本合計	5,615,915	5,792,407
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	238,201	59,242
為替換算調整勘定	△1,083,208	△1,104,962
評価・換算差額等合計	△845,006	△1,045,720
少数株主持分	113,240	91,535
純資産合計	4,884,149	4,838,222
負債純資産合計	15,355,224	15,836,405

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	4,820,104	3,908,177
売上原価	4,449,616	3,490,715
売上総利益	370,487	417,461
販売費及び一般管理費	504,371	461,982
営業損失(△)	△133,883	△44,520
営業外収益		
受取利息	2,689	862
受取配当金	23,041	21,965
負ののれん償却額	—	1,618
デリバティブ評価益	104,413	—
雑収入	12,626	12,358
営業外収益合計	142,771	36,805
営業外費用		
支払利息	34,086	19,775
退職給付費用	31,277	31,277
為替差損	—	8,257
雑支出	15,814	11,785
営業外費用合計	81,179	71,096
経常損失(△)	△72,291	△78,810
特別利益		
固定資産売却益	9,697	—
移転補償金	20,000	—
特別利益合計	29,697	—
特別損失		
事務所移転費用	5,825	—
特別損失合計	5,825	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△48,419	△78,810
法人税、住民税及び事業税	28,261	29,032
法人税等調整額	67,892	31,969
法人税等合計	96,153	61,001
少数株主利益	21,130	18,307
四半期純損失(△)	△165,703	△158,119

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△48,419	△78,810
減価償却費	150,831	148,599
移転補償金	△20,000	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△11,966	△57,811
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,942	886
賞与引当金の増減額(△は減少)	△126,080	△6,000
受取利息及び受取配当金	△25,731	△22,827
支払利息	34,086	19,775
為替差損益(△は益)	△6,200	△25,295
有形固定資産売却損益(△は益)	△9,697	—
売上債権の増減額(△は増加)	△73,310	△30,494
たな卸資産の増減額(△は増加)	148,149	172,318
仕入債務の増減額(△は減少)	△187,332	△338,661
未払費用の増減額(△は減少)	△50,361	△567,495
その他	△56,583	△58,780
小計	△280,672	△844,598
利息及び配当金の受取額	25,731	22,827
利息の支払額	△34,813	△20,269
移転補償金の受取額	20,000	—
法人税等の支払額	△52,433	△35,740
営業活動によるキャッシュ・フロー	△322,188	△877,780
投資活動によるキャッシュ・フロー		
補助金の受取額	111,022	18,483
有形固定資産の取得による支出	△224,510	△87,622
有形固定資産の売却による収入	11,990	—
その他	24,944	△21,602
投資活動によるキャッシュ・フロー	△76,554	△90,741
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	85,000	443,940
長期借入れによる収入	100,000	5,224
長期借入金の返済による支出	△155,500	△165,500
自己株式の取得による支出	△539	△288
配当金の支払額	△97,280	△59
その他	—	30
財務活動によるキャッシュ・フロー	△68,319	283,347
現金及び現金同等物に係る換算差額	△21,971	12,533
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△489,033	△672,640
現金及び現金同等物の期首残高	1,775,212	1,962,469
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	—	74,111
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,286,178	1,363,940

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	繊維事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	機械販売事業 (千円)	倉庫事業 (千円)	保育サービス事業 (千円)	システム事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
I 売上高										
1 外部顧客に対する売上高	4,482,304	19,889	7,842	29,685	222,835	56,448	1,098	4,820,104	—	4,820,104
2 セグメント間の内部売上高又は振替高	110	4,459	87,827	108,307	—	19,694	—	220,399	(220,399)	—
計	4,482,415	24,348	95,669	137,993	222,835	76,143	1,098	5,040,503	(220,399)	4,820,104
営業利益又は営業損失(△)	△168,741	19,402	5,847	7,571	25,569	△22,245	△1,487	△134,083	200	△133,883

(注) 1. 事業の区分方法は、製品の種類及び性質により区分しております。

2. 各事業の主な製品

- (1) 繊維事業……………天然繊維織物加工、合成繊維織物加工、編物加工、技術指導料、買取二等反売上、テキスタイル（衣料関連、インテリア関連、スポーツ関連等）、縫製品（パンツ、パジャマ、カジュアルシャツ等）
- (2) 不動産賃貸事業……事業用土地、店舗、駐車場、住宅、保養施設の賃貸
- (3) 機械販売事業……………染色関連開発機器・工業薬品の分析装置の販売等
- (4) 倉庫事業……………繊維製品等の荷役・保管等
- (5) 保育サービス事業…ベビーシッターサービス、託児所での保育サービス
- (6) システム事業……………ソフト開発の請負等
- (7) その他の事業……………包装資材販売等

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	繊維事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	機械販売事業 (千円)	倉庫事業 (千円)	保育サービス事業 (千円)	システム事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
I 売上高										
1 外部顧客に対する売上高	3,581,768	18,013	23,176	7,907	260,990	15,637	683	3,908,177	—	3,908,177
2 セグメント間の内部売上高又は振替高	495	4,459	12,588	81,591	—	19,445	—	118,580	(118,580)	—
計	3,582,264	22,472	35,764	89,499	260,990	35,082	683	4,026,758	(118,580)	3,908,177
営業利益又は営業損失(△)	△53,566	16,480	6,804	△6,832	4,462	△12,792	323	△45,120	600	△44,520

(注) 1. 事業の区分方法は、製品の種類及び性質により区分しております。

2. 各事業の主な製品

- (1) 繊維事業……………天然繊維織物加工、合成繊維織物加工、編物加工、技術指導料、買取二等反売上、テキスタイル（衣料関連、インテリア関連、スポーツ関連等）、縫製品（パンツ、パジャマ、カジュアルシャツ等）
- (2) 不動産賃貸事業……事業用土地、店舗、駐車場、住宅、保養施設の賃貸

- (3) 機械販売事業……染色関連開発機器・工業薬品の分析装置の販売等
- (4) 倉庫事業……繊維製品等の荷役・保管等
- (5) 保育サービス事業…ベビーシッターサービス、託児所での保育サービス
- (6) システム事業……ソフト開発の請負等
- (7) その他の事業……包装資材販売等

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	日本 (千円)	東南アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3,753,803	1,066,300	-	4,820,104	-	4,820,104
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	72,949	875	-	73,825	(73,825)	-
計	3,826,753	1,067,176	-	4,893,929	(73,825)	4,820,104
営業利益又は営業損失(△)	△155,693	27,284	△6,586	△134,994	1,111	△133,883

- (注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
 2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。
 (1) 東南アジア……タイ・インドネシア
 (2) 北米……アメリカ

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	日本 (千円)	東南アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,952,104	956,072	-	3,908,177	-	3,908,177
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	55,621	2,137	-	57,758	(57,758)	-
計	3,007,726	958,209	-	3,965,936	(57,758)	3,908,177
営業利益又は営業損失(△)	△148,628	115,183	△10,456	△43,901	(618)	△44,520

- (注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
 2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。
 (1) 東南アジア……タイ・インドネシア
 (2) 北米……アメリカ

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	336,632	372,220	434,891	1,143,745
II 連結売上高(千円)				4,820,104
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	7.0	7.7	9.0	23.7

- (注) 1. 国又は地域は、地理的近接度によっております。
 2. 各区分に属する主な国又は地域
 (1) 北米……アメリカ
 (2) アジア……中国・韓国・その他
 (3) その他の地域…欧州・中近東・豪州・中南米・アフリカ・その他
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の仕向地により区分した売上高であります。

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	268,378	340,335	324,915	933,629
II 連結売上高（千円）				3,908,177
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	6.9	8.7	8.3	23.9

（注）1. 国又は地域は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米……………アメリカ

(2) アジア……………中国・韓国・その他

(3) その他の地域…欧州・中近東・豪州・中南米・アフリカ・その他

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の仕向地により区分した売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

欠損填補に充てるため、資本剰余金639,547千円を利益剰余金に振り替えております。